

# 会津平坦部において初冬播き乾田直播栽培は可能である

福島県農業総合センター 会津地域研究所

## 1 部門名

普通作物－水稲－作型・栽培型

## 2 担当者名

笹川正樹、濱名健雄、佐藤弘一、高橋元紀

## 3 要旨

国立大学法人岩手大学が提唱した初冬播き乾田直播栽培は、大規模経営体等で過度に集中する春作業の分散化を目指して初冬に播種する栽培方法である。会津平坦部で本栽培方法を検証した結果、「ひとめぼれ」の収量は51.0～60.0kg/a確保でき、適応可能であると考えられた。

- (1) 図1に初冬播き乾田直播栽培の作業スケジュールを示す。会津平坦部では積雪前に播種する。
- (2) 会津平坦部（会津地域研究所内）で2018年播種/2019年収穫及び2019年播種/2020年収穫の試験栽培を行ったところ、精玄米収量は51.0kg/a及び60.0kg/aであった（表1）。
- (3) 玄米の検査等級は2等上及び1等中であった（表1）。

栽培方法	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
初冬播き乾田直播栽培	耕耘	播種					(出芽・入水)
(参考) 乾田直播種栽培						耕耘	播種 (出芽・入水)
(参考) 移植栽培						育苗	
						耕耘	(入水) 代掻き 定植

図1 初冬播き乾田直播栽培の作業スケジュール（11月～5月）

表1 水稲初冬播き乾田直播の生育及び収量（2018～2020年、会津地域研究所）

試験年度 (播種年/収穫年)	播種時期	出芽期 (月/半月)	苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	出穂期 (月/日)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	精玄米重 (kg/a)	玄米品質	
							検査等級	タンパク質含有率 (%)
2018/19	12/3	5/2	66	8/5	309	51.0	2等上	6.4
2019/20	11/27	5/5	126	8/6	416	60.0	1等中	6.2

※供試品種「ひとめぼれ」、播種量1.5kg/a。播種前に、2018/19は鉄及びキヒゲン R-2フロアブル、2019/20はキヒゲン R-2フロアブル塗沫処理。

※播種は「ごんべえ」(TS-5504(株)向井工業)による条播(条間28cm、条数4)。

※施肥量(kg/a)はN1.0、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>1.0、K<sub>2</sub>O1.0。窒素肥料には「LPコート100」を用いた。なお、播種後表面施肥し、追肥は無施用。

※除草処理は入水前に「グリホサート剤」、入水後に「トリアファモン・テフリルトリオン乳剤」。

※精玄米重は坪刈り収量(1.8mm調製、水分15%換算値)。

※検査等級はJA会津よつばによる1等上～3等下及び規格外の10段階評価。

※玄米タンパク質含有率は静岡製機製近赤外分析計(SGE-4000)による15%水分換算値。

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成30年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 会津地域における米の省力・低コスト技術および高品質米安定生産技術の確立  
初冬播き乾田直播栽培技術の確立  
〔農林水産省：イノベーション創出強化研究推進事業〕

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 笹川正樹ら、福島県会津地域平坦部における水稲初冬直播き栽培の適応性、日本作物学会第252回講演会要旨集, p.9, 2021.